【令和８年度】
尼崎市のコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の実施状況等について



尼崎市教育委員会事務局　社会教育部　社会教育課

１.コミュニティ・スクール等の制度について

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動制度のおさらいをさせていただきます

1．コミュニティ・スクールの制度等について①

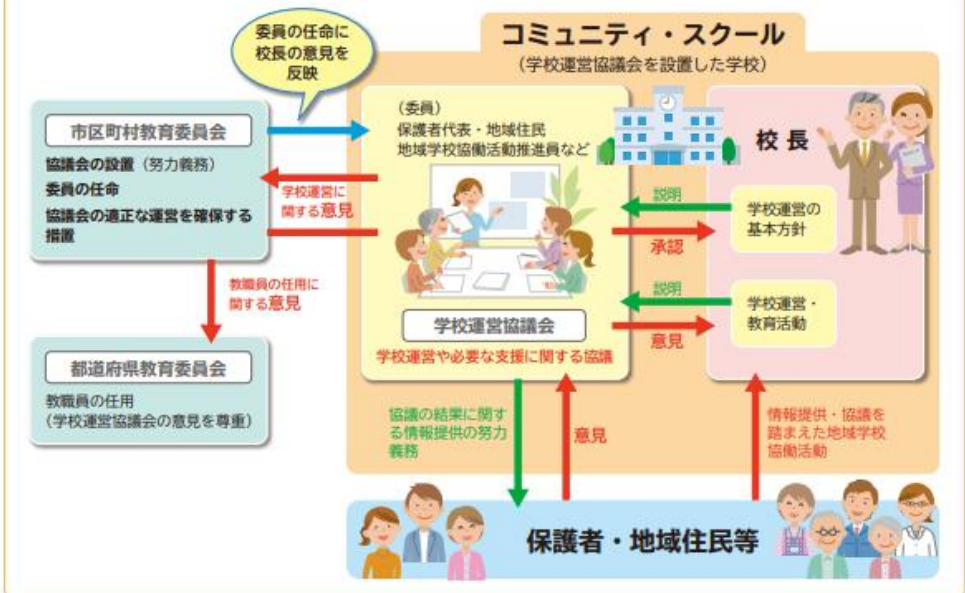
コミュニティ・スクールとは

コミュニティ・スクール ＝ 学校運営協議会を設置した学校

学校運営協議会とは・・・

法律に基づき教育委員会により任命された委員が、一定の権限を持って、学校の運営とそのために必要な支援について協議する合議制の機関のことです。

コミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置した学校）の仕組み



学校運営協議会の主な３つの役割 （地教行法第47条の6）※令和2年4月～：第47条の5

❶校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること
❷学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べることができる
❸教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べることができる

地域学校協働活動とは

地域学校協働活動とは、地域住民、学生、保護者、ＮＰＯ、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。 次の時代を担う子供たちに対して、どのような資質を育むのかという目標を共有し、学校と地域が連携・協働します。

学びによるまちづくり・地域課題解決型学習・郷土学習

●地域資源を理解し、その魅力を伝えたり、地域活性化のための方策を考え、実行する学習活動
●「ふるさと」について地域住民から学び、自ら地域について調べたり発表したりする学習活動
●地域の産業や商店街の職場体験学習、郷土の伝統・文化芸能学習　など




放課後子供教室

●地域住民の参画を得て、放課後等に全ての児童を対象として行う、学習や体験・交流といった多様な活動



地域未来塾

●全ての児童生徒を対象に、教員ＯＢや大学生などの地域住民の協力によって行う学習支援



家庭教育支援活動

●寄り添いが必要な子供、不登校傾向のある子供等への対応について、保護者が学び合う機会づくり　など



学校に対する多様な協力活動

●登下校の見守り、花壇や通学路等の学校周辺環境の整備、子供たちへの本の読み聞かせ、授業の補助や部活動の支援、企業等による出前授業等の教育プログラムの提供　など



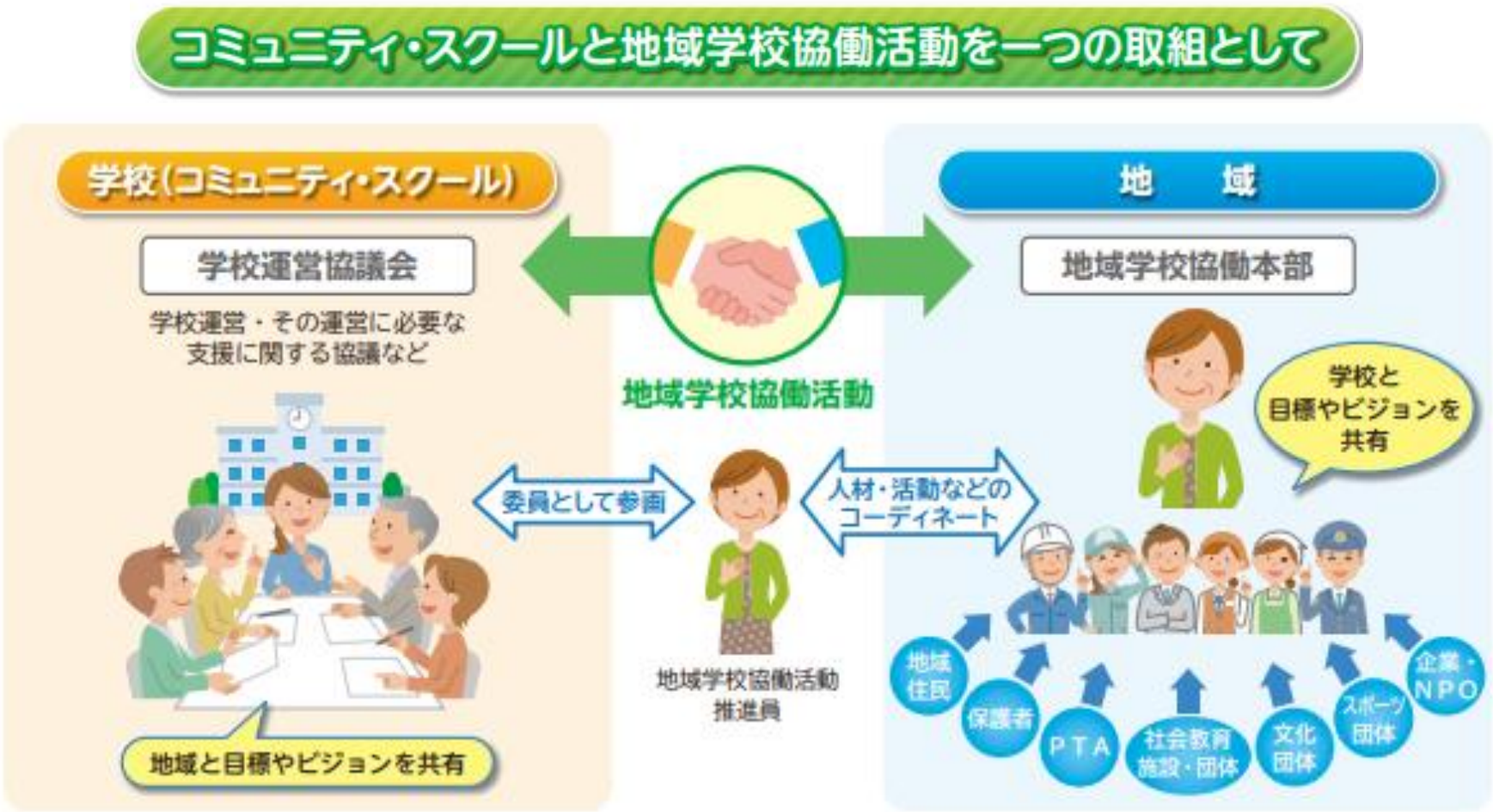
地域の行事、イベント、お祭り、ボランティア活動等への参画

●地域イベントにおけるボランティア体験学習、 伝統行事やお祭りでの伝統文化・芸能の発表や楽器の演奏、地域の防災訓練への参画　など



（文部科学省「これからの学校と地域」を基に作成）

１．コミュニティ・スクールの制度等について②



コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に進めるためには、まず関係者で目標やビジョンを共有することが重要で、学校運営協議会の協議や熟議等がその役割を果たします。その結果を踏まえ、幅広い地域住民等が参画することによって、教育活動や地域学校協働活動の充実や活性化につながります。

学校運営協議会と地域学校協働本部は、それぞれがもつ役割を十分に機能させ、一体的に推進することで、相乗効果を発揮し、学校運営の改善と地域づくりに資する活動が一層進んでいくことが期待されます。

（文部科学省「これからの学校と地域」を基に作成）

２.地域学校協働活動の導入経緯・実施状況等について

尼崎市の地域学校協働活動の導入経緯・実施状況等についてご説明します

２．協働活動の導入経緯･実施状況等について①

地域学校協働本部を設置した経緯・目的

地域の豊かな社会資源を活用し、子どもたちが地域社会で体験的に学ぶ取組を行うとともに、学校の求めと地域の力をマッチングして、より効果的な学校支援活動を行えるよう、尼崎市では、平成28年度から市立小学校に順次、地域学校協働本部の設置（地域学校協働活動推進員（コーディネーター）の配置）を開始いたしました。

この地域学校協働活動では、学校支援活動を行うのみに留まらず、その活動を通じて、地域の繋がり・絆を強化し、地域の教育力等を向上することにより、「学校を核とした地域づくり」の実現も目的としております。

尼崎市の特徴といたしましては、これまでも学校と地域が協力して様々な活動を行っていた経緯もありましたので、コミュニティ・スクールの導入に先行して、地域学校協働活動の推進を積極的に行ってまいりました。

地域学校協働本部の設置状況

年度	地域学校協働活動の導入経緯
平成２８年度～	市立小学校に地域学校協働本部の設置開始（地域学校協働活動推進員（コーディネーターの配置）） ※平成28年度は学校支援活動コーディネートモデル事業として実施
令和２年度	全市立小学校に地域学校協働本部の設置完了（地域学校協働活動推進員の配置完了）
令和４年度～	小学校以外の学校種においても、コミュニティ・スクールの導入に合わせた、地域学校協働活動推進員の配置を開始
令和７年度	全市立学校におけるコミュニティ・スクールの導入に伴い、全市立学校において地域学校協働活動推進員の配置完了
令和８年４月～	4月：尼崎市立尼崎琴葉中学校開校 コミュニティ・スクールの導入に向けて調整を行う

※ 尼崎市では、地域学校協働活動推進員の配置により「地域学校協働本部の設置」としております。

2．協働活動の導入経緯･実施状況等について②

地域学校協働活動の実施状況

各学校種において実施されている地域学校協働活動（一例）は次のとおりになっています。

学校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
活動内容	・登下校の見守り ・花壇等の環境づくり ・図書ボランティア ・本の読み聞かせ ・学習支援、体験活動（米づくり、農業、書道、餅つき、味噌づくり、キャリア教育など） ・新１年生への学習・生活支援 ・昔あそび ・郷土学習（節分行事・能・狂言・浄瑠璃） ・校内外の清掃活動 ・町たんけん ・地域の歴史、文化の講座 ・中庭コンサート ・地域防災訓練 ・放課後スポーツ教室など	・地域行事への参画（吹奏楽部による演奏など） ・図書ボランティア ・花いっぱい運動(花壇整備) ・あいさつ運動 ・校内外の清掃活動 ・小中連携活動 ・健全育成啓発活動（非行化防止標語の共有、祭礼時等の街頭補導活動など） ・地域河川の清掃活動 ・地域に向け学校活動の発信など ・保護者交流（不登校等）	・地域防災訓練 ・幼稚園との連携 ・小学校との連携 ・地域イベント参画 ・登下校の見守り ・地域清掃活動など ・探求学習サポート	・大型絵本の読み聞かせ ・学校行事への参加呼び掛け ・地域団体とのﾘｰｽ作りなど

※　各学校の特色等に応じた地域学校協働活動を実施しております。

2．協働活動の導入経緯・実施状況等について③

地域学校協働活動の様子(1)



（【小】フラワーセラピー　）



（　【小】餅つき　）



（【小】避難訓練　）



（　【高】ふれあい園児運動指導　）



（　【小】幼保連携　）

※　活動の写真につきましては、各学校に使用許可を得て掲載しています。

2．協働活動の導入経緯・実施状況等について④

地域学校協働活動の様子(2)



（【小】登下校の見守り）



（【小】ペンキ塗り体験）



（【小】地域の方による校内清掃）



（【小】さつまいもの苗植え体験）



（【小】地域の歴史講演）



（【小】昔遊び）

※　活動の写真につきましては、尼崎市や尼崎市立教育総合センターのホームページに掲載されているもの等を使用しております。

2．協働活動の導入経緯・実施状況等について⑤

地域学校協働活動の様子(3)



（【小】図書ボランティア活動）



（ 【小】町たんけん）



（ 【小】感謝を伝える会）



（【中】地蔵尊祭礼）



（【中】NPOスマイル共同農園）



（【高】高校と幼稚園の連携）

※　活動の写真につきましては、尼崎市や尼崎市立教育総合センターのホームページに掲載されているもの等を使用しております。

3.コミュニティ・スクールの導入経緯・実施状況等について

尼崎市のコミュニティ・スクールの導入経緯や実施状況等についてご説明します

3．CS導入経緯・実施状況等について①

コミュニティ・スクール導入の経緯・目的

市立小学校全校に地域学校協働本部を設置し、地域学校協働活動の推進体制が整ったことから、学校が抱える課題の解決や学習支援、体験活動の充実に向け、学校運営に地域の声を積極的に生かしながら、「地域とともに特色ある学校づくり」を進めていくため、令和２年度から市立小学校のモデル校でコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入を開始しました。その後、市立小学校のモデル校における取組の効果などを検証しながら、市立小学校全校におけるコミュニティ・スクールの導入を進めるとともに、他の学校種においても、令和４年度から導入を開始し、令和７年度中に、令和８年４月に開校した尼崎琴葉中学校を除く全市立学校でコミュニティ・スクールの導入を完了しております。

尼崎琴葉中学校については、コミュニティ・スクールの導入に向けて学校と調整を進めています。

コミュニティ・スクールの導入状況

学校種	コミュニティ・スクール設置状況							校数計
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	合計	
小学校	5校	3校	11校	12校	10校	0校	41校	41校
中学校	0校	0校	0校	3校	10校	4校	17校	18校
高等学校	0校	0校	1校	0校	0校	2校	3校	3校
特別支援学校	0校	0校	0校	0校	0校	1校	1校	1校
合計	5校	3校	12校	15校	20校	7校	62校	63校

3．CS導入経緯・実施状況等について②

学校運営協議会の開催状況（1）

各学校によって開催状況が多少異なりますが、基本的には1学期に1回、学校運営協議会を開催し、学校運営や地域学校協働活動などについて協議していただくよう各学校にお願いしております。学校運営協議会の協議内容は次のとおりとなっております。

【学校運営協議会の開催イメージ】

開催回数	【1回目】	【2回目】	【3回目】
開催時期	1学期（5月～7月頃）	2学期（10月～12月頃）	3学期（1月～3月頃）
協議内容	①　学校職員の紹介 ②　学校運営協議会委員の紹介 ③　学校運営方針の説明・承認 ④　学校の抱える課題の共有 ⑤　学校の年間行事 ⑥　年度当初の学校の様子 ⑦　地域学校協働活動実施計画 ⑧　意見交換 ⑨　その他必要な事項	①　授業の見学 ②　学校運営課題等に関する協議 ③　地域学校協働活動実施状況報告 ④　意見交換 ⑤　その他必要な事項	①　学校評価 ②　年間行事の振り返り ③　地域学校協働活動結果報告 ④　次年度に向けた協議 ⑤　意見交換 ⑥　その他必要な事項

3．CS導入経緯・実施状況等について③

学校運営協議会の開催状況(2)

各学校種において協議されている具体的な内容は次のとおりになっています。

学校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
協議内容	・学校運営方針 ・年間行事予定 ・学校の様子、現状 ・不登校支援 ・新1年生の様子、支援方法 ・学力向上 ・地域学校協働活動 ・ボランティアの募集方法 ・学校施設の老朽化 ・授業、行事見学 ・小中連携 ・教員の働き方改革 ・学校評価　など	・学校運営方針 ・年間行事予定 ・学校の様子、現状 ・不登校支援 ・生徒指導の状況 ・授業改善、学力向上 ・地域連携、地域貢献 ・小中連携 ・クラブ活動の様子 ・部活動の地域移行 ・トライやる・ウィーク ・授業、行事見学 ・学校評価　など	・学校運営方針 ・年間行事予定 ・学校の様子、現状 ・クラブ活動の様子 ・特色ある教育活動 ・学校評価　など	・学校運営方針 ・年間行事予定 ・学校の様子、現状 ・地域連携方策 ・学校評価　など

※コミュニティ・スクールはローカル型（地域に密着した取組）とテーマ型（学校の特色に対応した取組）による活動があります。

3．CS導入経緯・実施状況等について④

学校運営協議会委員の委嘱について

尼崎市では、各学校運営協議会の委員数は15人以内とし、次の表に記載している者のうちから教育委員会が設置校の校長の意見を聴きながら、学校運営協議会委員として委嘱（任期2年）させていただいております。

現在の尼崎市学校運営協議会委員の委嘱状況につきましては、次の表のとおりです。

【尼崎市学校運営協議会委員委嘱状況表（令和8年7月1日現在）】

属性	委嘱人数	割合	主な委嘱者
(1)　設置校に在籍する児童又は生徒の保護者	62人	11.2%	現・旧PTA会長、保護者
(2)　設置校の所在する地域の住民	143人	25.9%	社会福祉協議会（自治会）役員、 民生児童委員
(3)　地域学校協働活動推進員	56人	10.1%	地域学校協働活動推進員
(4)　学校の運営に関する活動を行うもの	106人	19.2%	元学校評議員、学校支援ボランティア
(5)　学識経験者	22人	4.0%	大学関係者、元校長、地域振興センター所長
(6)　設置校の校長及び教職員	159人	28.8%	校長、教頭、主幹教諭、生徒指導主事
(7)　その他、教育委員会が適当と認めるもの	4人	0.7%	
合計	552人	100.0%	

※　地域学校協働活動推進員及び設置校の校長の委嘱は必須としております。

3．CS導入経緯・実施状況等について⑤

コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の様子



（小学校運営協議会の様子①）



（小学校運営協議会の様子②）



（R4文部科学大臣表彰受賞）



（中学校運営協議会の様子①）



（中学校運営協議会の様子②）



（高等学校運営協議会の様子）

※　活動の写真につきましては、尼崎市や尼崎市立教育総合センターのホームページに掲載されているもの等を使用しております。

４.コミュニティ・スクールの効果・課題

尼崎市では、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動の状況を把握するとともに、その効果や課題を検証するためのアンケート調査を実施しております。アンケート調査の分析により得られた効果と課題をご説明します。

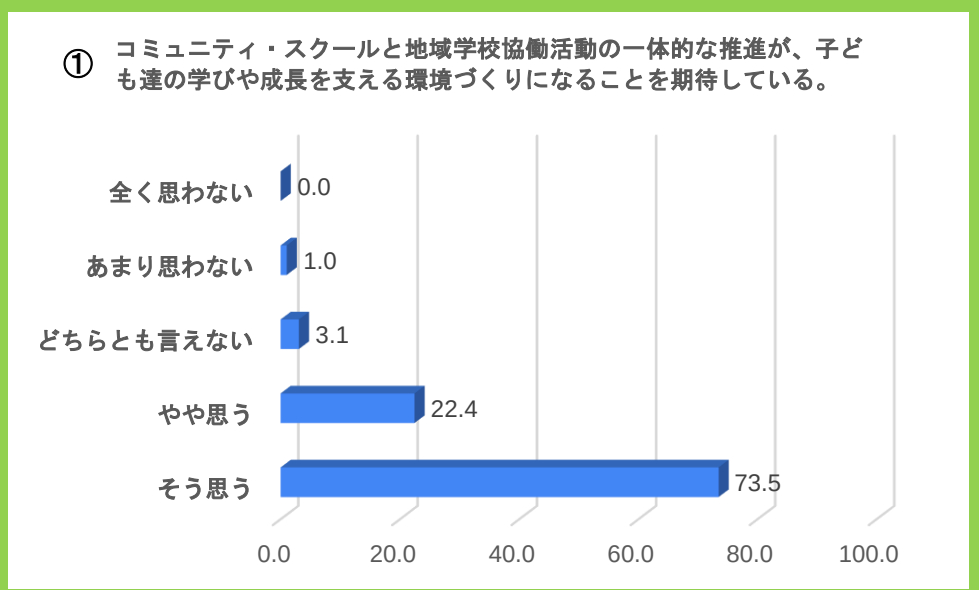
4．コミュニティ・スクールの効果・課題①

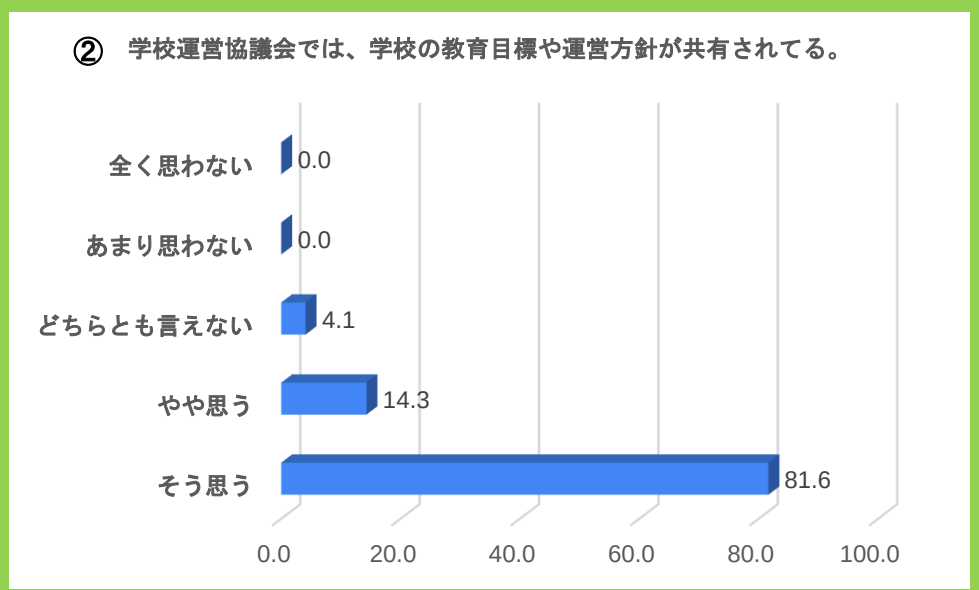
コミュニティ・スクールの効果（1）

●【表①】コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進が、子ども達の学びや成長を支える環境づくりになることを期待しているかについて「そう思う」とする回答割合が73.5%と高くなっています。

●【表②】学校運営協議会では、学校の教育目標や運営方針が共有されてるについて「そう思う」とする回答割合が81.6%と高くなっています。

●【表①・②】により、コミュニティ・スクール等の制度が一定浸透しており、コミュニティ・スクール等に対する期待値が高くなっていることが分かります。





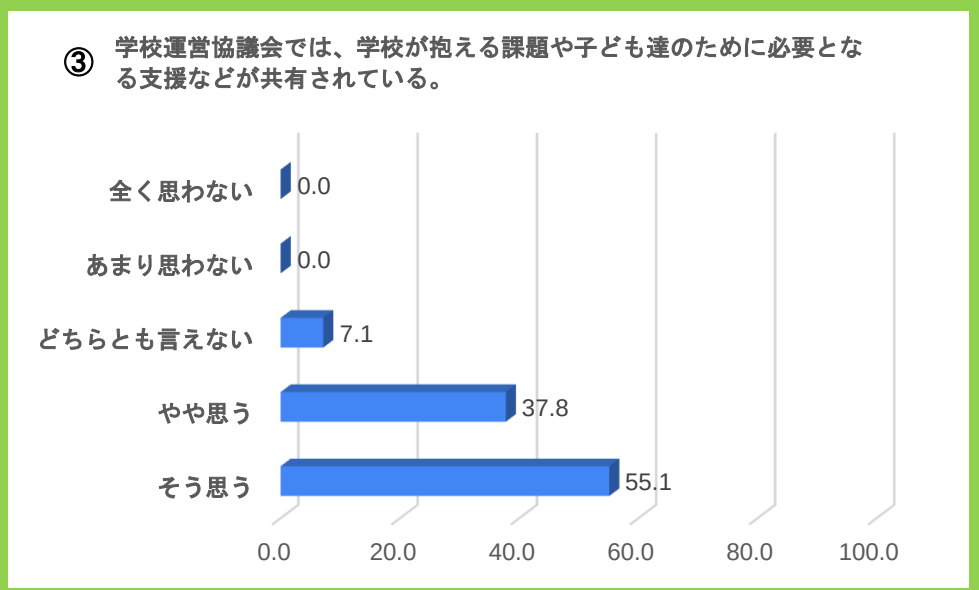
4．コミュニティ・スクールの効果・課題②

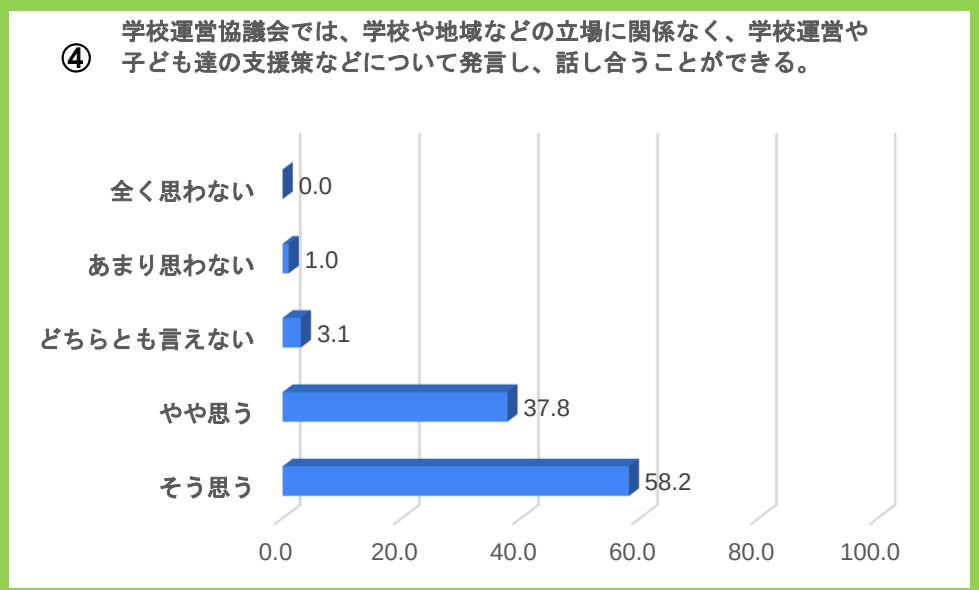
コミュニティ・スクールの効果（2）

●【表③】学校運営協議会では、学校が抱える課題や子ども達のために必要となる支援などが共有されているかについて「そう思う」と「やや思う」とする回答割合の合計が90%を超えています。

●【表④】学校運営協議会では、学校や地域などの立場に関係なく、学校運営や子ども達の支援策などについて発言し、話し合うことができるかについて、「そう思う」と「やや思う」とする回答割合の合計が90%を超えています。

●【表③・④】により、学校運営協議会では、学校が抱える課題などが共有された上で、子ども達の支援策などについて一定協議されていることが分かります。





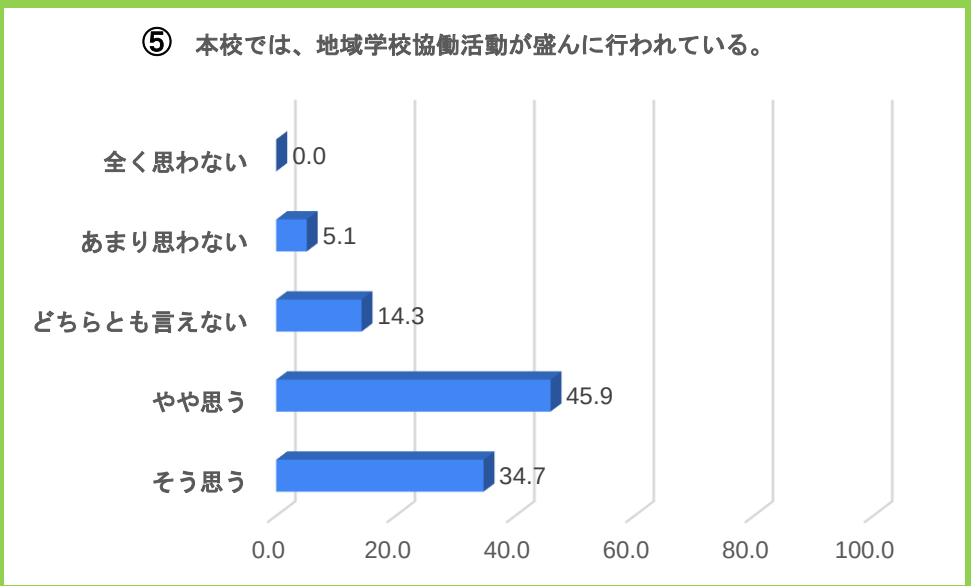
4．コミュニティ・スクールの効果・課題③

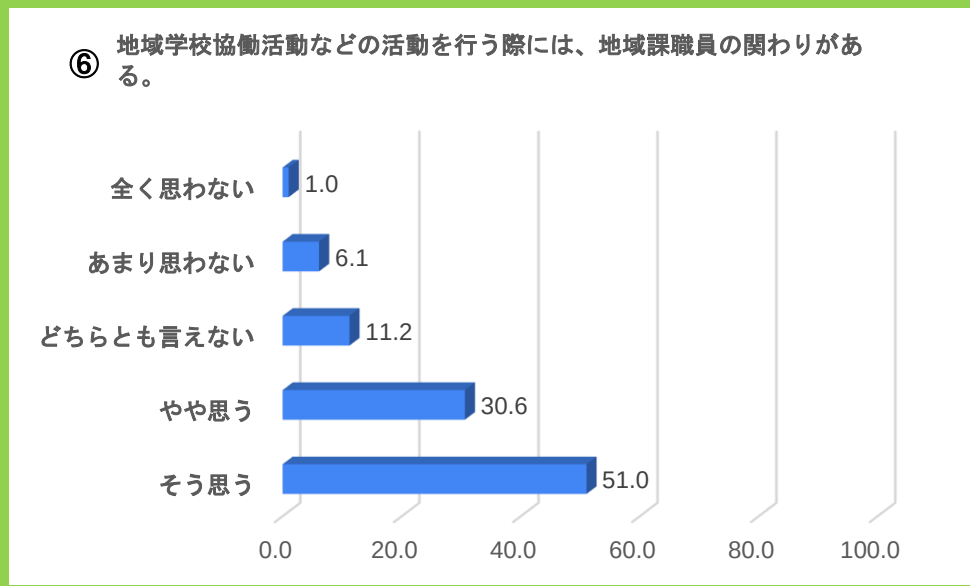
コミュニティ・スクールの課題（1）

●【表⑤】本校では、地域学校協働活動が盛んに行われているかについて、「そう思う」と「やや思う」とする回答割合の合計が80%を超えていますが、「そう思う」とする回答割合がまだまだ低くなっています。

●【表⑥】地域学校協働活動などの活動を行う際には、地域課職員の関わりがあるかについて、「そう思う」と「やや思う」とする回答割合の合計が80%を超えていますが、「そう思う」とまでする回答割合が半数となってます。

●16ページに記載のとおり、コミュニティ・スクール等に対する期待値が高くなっている一方、【表⑤、⑥】により、その活動については、まだまだ底上げをしていく必要があることが分かります。





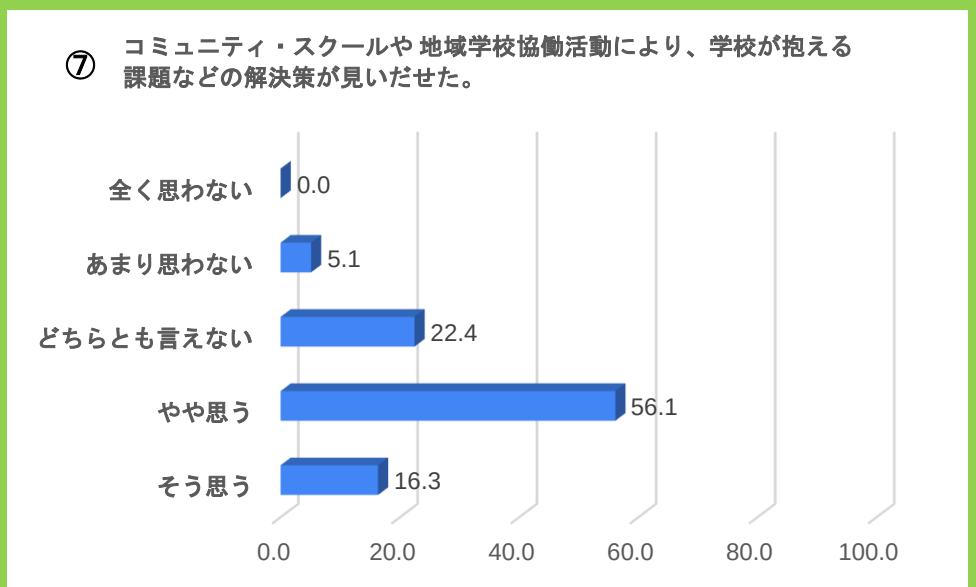
4．コミュニティ・スクールの効果・課題④

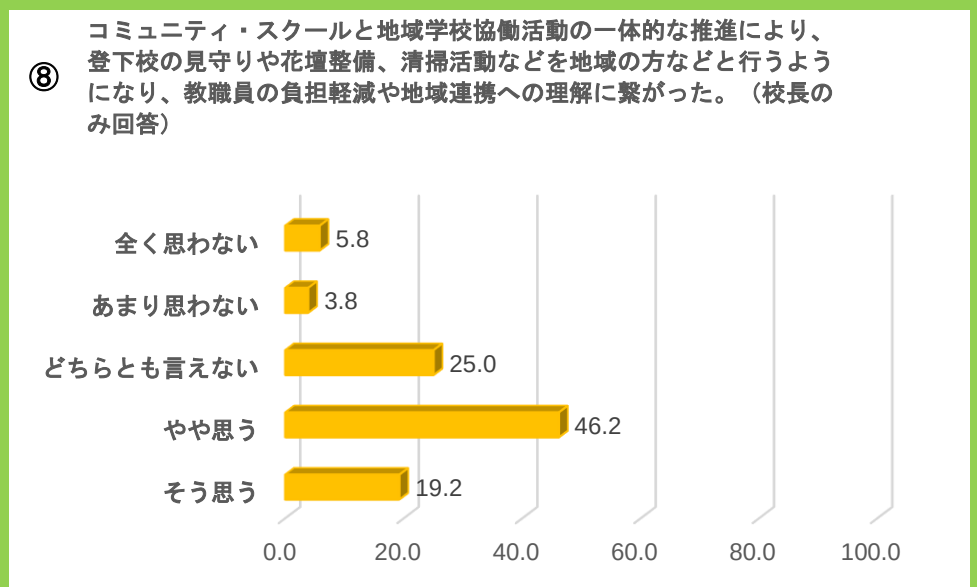
コミュニティ・スクールの課題（2）

●【表⑦】コミュニティ・スクールや 地域学校協働活動により、学校が抱える課題などの解決策が見いだせたかどうかについて、「やや思う」の回答割合が56.1%となっており、「そう思う」の回答割合が16.3%と低くなっています。

●【表⑧】一体的な推進により、登下校の見守りや花壇整備、清掃活動などを地域の方などと行うようになり、教職員の負担軽減や地域連携への理解に繋がったについて「そう思う」と「やや思う」との合計が65.4%となっています。

●【表⑦・⑧】により、学校が抱える課題の共有をよりすることで、教職員の負担軽減につながるよう、コミュニティ・スクール等の発展に取り組む必要があります。





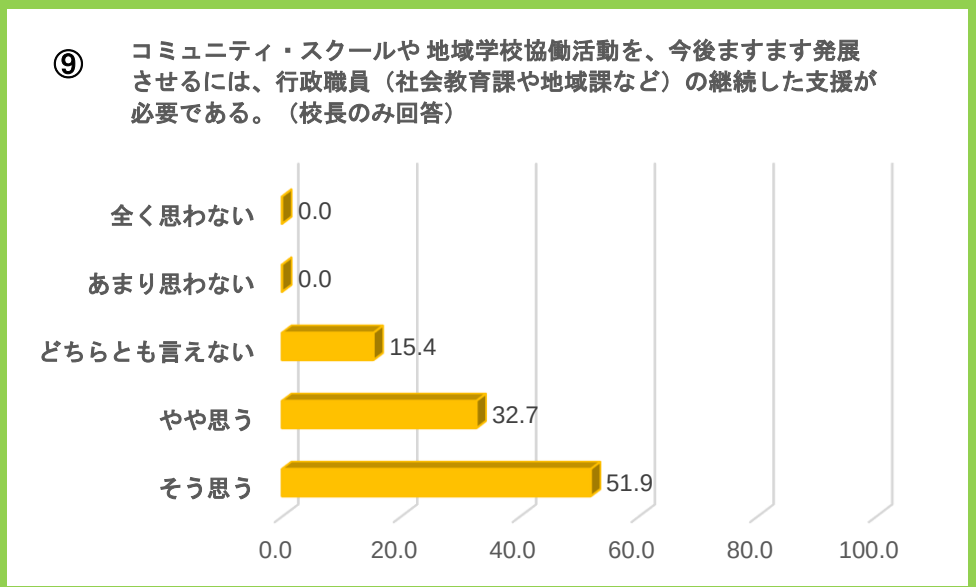
4．コミュニティ・スクールの効果・課題④

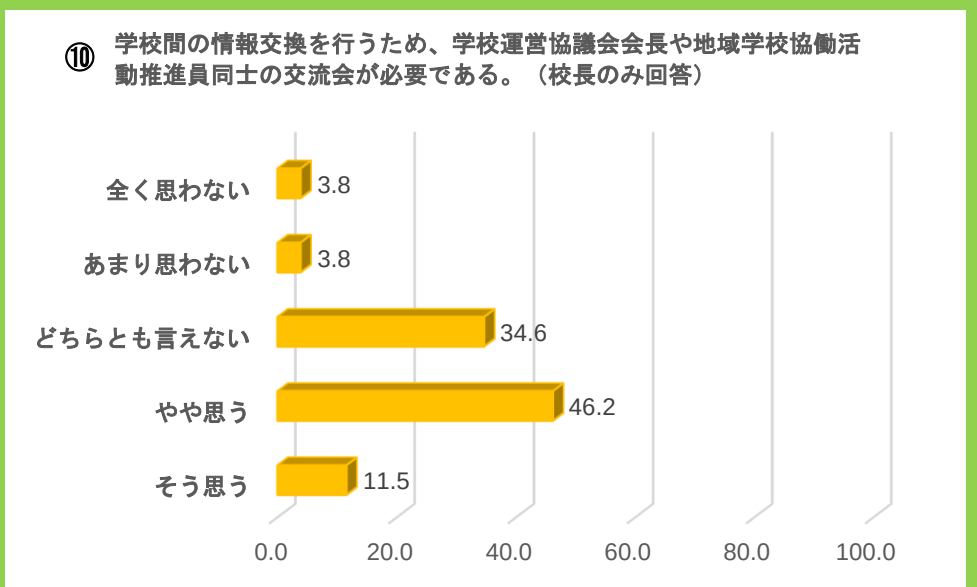
コミュニティ・スクールの課題（2）

●【表⑨】コミュニティ・スクール等の発展には、行政職員の継続した支援が必要かどうかについて、「そう思う」と「やや思う」とする回答割合の合計が84.6%と非常に高くなっています。

●【表⑩】コミュニティ・スクール等について、他の学校がどのような取組を行っているかを知りたいかについて「そう思う」と「やや思う」とする回答割合の合計が50%を超えています。

●【表⑨・⑩】により、コミュニティ・スクール等の発展には、行政職員の継続した伴走支援や活動等に関する情報発信や情報収集に取り組む必要があります。





5 .尼崎市のコミュニティ・スクールが目指す姿

5．尼崎市のコミュニティ・スクールが目指す姿

コミュニティ・スクール　地域学校協働活動は

Happy Happy な関係をめざしています！



Happy Happyとは、

『学校(子ども・教職員)も幸せ！学校に関わる地域も幸せ！』

になる関係のことを言います♪

例)学校にミシンの使い方に詳しい先生がいない・・・。

地域のミシンが得意な方に授業のサポートをお願いしよう！

そして・・・

子どもたちは丁寧に使い方を教えてもらえて嬉しい！

先生は指導に専念することができて嬉しい！

地域の方は得意なスキルを活かし、役に立てて嬉しい！

ご一読いただきありがとうございました